

# 学校訪問 14

## 山田方谷を輩出した まちで元気に学ぶ

### 中井小学校

中井小学校（中井町西方・畦田正博校長）は全校児童32人。郷土の偉人・山田方谷を輩出したまちということもあり、日ごろから教育への取り組みが熱心な地域で、学校と町が連携した行事を開いています。



子ども議会の様子

開催となった子ども議会。中井町をよくするために、児童らが自ら考え、中井町まちづくり推進委員会（室紀一郎委員長）に質問や提案をしております。今年6月10日に行われました。会では3つのグループがそれぞれ発言。

「中井町のみんなのために役立とう！」という目標を掲げたスマイルワールド隊は、アルミ缶の回収やユニセフ募金、ふれあい会への参加について、提案理由を交えながら問いかけました。「100円あれば、ポリオから子どもを守るためのワクチン6回分になる。だから募金に協力したい」と訴えると、同委員会の委員は、「世界の困っている人に目を向けて活動しよう」としていいのがいい。10月17日のふれあい広場でユニセフ募金の宣伝をしつかりして募金を呼び掛けてほしい」と分かりやすく答弁しました。

スマイルワールド隊の一人・6年生の熊本亮太くんは、「昨年募金に協力してもらってうれしかったけど、今年も募金募金の額を増やして、ユニセフ

に贈りたい」とうれしそう。また、親子共同で行う「学校保健委員会」も特色ある取り組みの一つ。同委員会のテーマである『望ましい生活習慣を身に付けよう』の「めあて」を親子一緒に話し合って決めるので、子どもと大人の視点がずれる心配もありません。「早寝・早起き、メディアの視聴時間、家族の一員としての仕事、寝る前の歯みがき」などの項目について親子で「個人のめあて」を決めました。



学校保健委員会

7月17日、総合文化会館で「市政アドバイザーによる講演」を開催しました。講師は成羽町出身で、電子部品大手・京セラ(株)相談役の伊藤謙介さん。伊藤さんは「リーダーの魂」と題して、同社名誉会長の稲森和夫さんと出会い、創業に携わってからの思い出や経営の苦労、また経営者には大胆さとともに豊かな感性も必要とする自身の考えるリーダー観などについて話していました。



伊藤謙介さん

市は、本市にゆかりがあり各分野で活躍されている15人に市政アドバイザーとして、意見や提言をいただいております。今年も10月6日(水)に都市センターホテル(東京都)で懇談会を開催する予定です。

■問い合わせ  
企画課公聴広報係 ☎0210



## 県大会初優勝！

## 高梁野球スポーツ少年団



決勝戦6回表3対3。1死満塁から杉くんの1塁強襲内野安打で高梁勝ち越す

「やった！優勝だ。本（中国）大会出場決定だ」と喜ぶのは高梁野球スポーツ少年団（三上雅博代表）の選手たち。7月24日～31日に行われた「第7回中国ろうきん杯学童軟式野球選手権大会岡山県決勝大会」で見事、出場18チームの頂点に立ちました。

同少年団には現在、小学2年生から6年生まで21人が所属。毎週水・木曜日の午後4時から3時間、土・日曜日の午後0時30分～午後6時まで、練習に汗を流しています。

高梁地区（吉備中央町含む）の予選を勝ち抜いて臨んだこの大会は、1回戦、優勝候補の呼び声が高かったヤング山陽スポーツ少年団（和気地区代表）に、エースで主砲の長谷川裕也くん（6年生）のホームランなどで10対5で勝利。2回戦もその



優勝旗を受け取る山本くん

まま波に

乗る、昨年の優勝チーム御津少年野球クラブ（岡山地区代表）を4対2で撃破し

最終日は、準決勝で荘内野球スポーツ少年団（玉野地区代表）に6対5で競り勝ち、本大会への出場が決定。決勝でも当新田学童軟式野球クラブ（岡山地区代表）に6対3で快勝しました。高梁地区のチームが、この大会で優勝したのは初めてです。キャッチャーで主将の山本竜くん（6年生）は「最高にうれしい」と喜び、監督の山下正己さん(43)は「苦しい試合の連続でしたが、どの試合も、最後まであきらめない、高梁らしさ」が出せました。子どもたちのおかげです」と話しました。